

第4学年1組 社会科学学習指導案

日 時：令和6年11月21日（木）5校時

場 所：浜田市立松原小学校 4年1組教室

1 単元名 自然災害からくらしを守る 東京書籍4年

2 学 級 松原小学校 4年1組 17名

3 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

- ①目的に応じて、複数の資料の中から必要な情報を自分で集める力。
- ②情報をまとめたものを活用し、考えを生み出す力。

情報活用能力指導の観点

※アルファベットは「松原小学びの指導体系表」より

○情報の収集

- d 身の回りの出来事から話題を提示する。
- e 参考図書やインターネットなど目的に応じて必要な情報を集める。

○情報の活用

- l いくつかの情報から、目的に合ったものを選ぶ。

○情報の伝達

- m 根拠を明確にしながら、自分の考えを書く。

教材の特質

本単元は、学習指導要領の内容（3）「自然災害から人々を守る活動」に関わる内容である。内容の取扱いでは、過去に県内で発生した水害について取り上げる。本単元では、県内で発生した自然災害について取り扱い、私たちの暮らしにどのような影響があるかについて考えていく。その中で、特に浜田市の豪雨災害を取り上げ、被害の様子や、関係機関との協力体制、災害後の復旧作業、今後を想定した防災の活動などに着目し、資料から読み取っていく。そして、学習したことを生かして、自分たちができることを考え、まとめ、表現していく活動を行う。

本単元に関わる子どもの実態

児童はこれまでの学習で社会科「水はどこから」、理科「雨水のゆくえ」について学習してきており、水に対しての関心は高まってきている。また、社会科では、どの単元でも要約学習を取り入れ、調べたことを図式化し、まとめながら話し合う場面を取り入れている。他教科でも図式化する時間を設けることで、情報をまとめる力を身に付けている児童が多い。しかし、身近な水が、時には命を脅かす災害に繋がり、私たちの生活に影響することを実感している児童は少ない。また、たくさんの情報から、必要な情報を抜き出したり、限られた時間の中で、説明したりすることに、苦手意識をもっている児童もいる。

本単元では、まず、意欲的に学習を進められるように、調べたいものを自分で選ぶ。次に、同じ項目を選んだグループで調べ学習を進めることで、1人では難しい児童もグループで力を合わせながら調べることができるようにする。その後、調べたことを図式化する活動を通して、必要な情報を抜き出す力を育むことに繋げていきたい。そして、調べたことを紹介し、まとめる活動を通して、暮らしに欠かせない水が、水害により私たちの生活に影響するということ、自然災害に備えて、様々な取り組みがあることを理解できるようにしたい。

①学習の見通しをもたせる

学習問題を全員で確認し、それを解決するための見通しをもって学習を進めていけるようにしたい。そのために、児童にとって身近な地域の自然災害を取り入れたり、児童の疑問や体験をもとに学習問題を作ったりすることができるようになりたい。

②松原小学び方指導体系表とのかかわり

本単元では主に「d 話題の設定・e 情報の収集・I 情報の活用・m まとめる」の観点を取り上げている。

d は経験したことや身近なことなどから学習問題を見つける場面、e は調べたいことについて複数の資料から情報を集める場面、I は集めた情報から自分が紹介したいものを選び図式化する場面、m は自分で調べたことや、友だちから聞いた情報を思考ツールに表現する場面にあたる。3年生までに付けてきた力と、5年生でつけない力を意識し、指導にあたっていきたい。

(2) 視点2 要約学習の実践

①全校「要約トレーニング」の実践

昨年度から全校で週1回「要約学習」に取り組んでいる。各学年に応じた内容で積み重ねていくことにより、情報活用、読み取りにおける一つのアイテムを獲得することをねらっている。中学年以上では、文章を読んでキーワードをつかむ→図式化する→図式をもとに相手に説明する→話したことを文章にするという手順で行っている。また、本学級ではこのスキルをメモをとることに活用し、相手が話した内容を聞き取り、図式化する活動も行っている。

②各教科、領域等での活用

今年度は、情報を整理する手段として、図式化を社会や理科などの学習にも広げ活用している。国語では、説明文の内容を段落ごとに図式化し、読み取りを深めるための手立てとした。理科では、実験結果や結果から分かること図式化し、学級に伝える際の道具として活用している。また、社会科見学に出かけた際には、説明を図式化しながらメモを取っている児童が多かった。

(3) 視点3 言語活動、言語環境の充実

本単元に関連する水害についての図書資料を集めたブックトラックを置く。また、インターネットのウェブサイトや、浜田市から提示されている資料も用意し、児童が必要な情報を集めることができるようにする。

本単元においての「調べる」活動では公助・共助・自助の中から児童が調べたいものを選び、まずは、一つの項目についてより深く理解できるように調べていく。そして、ジグソー法を使って紹介し、話し合いを進めることで、その他の取組についても理解できるようにする。その際、それぞれの言葉の意味については、全体であらかじめ確認しておくようにする。

5 単元の目標

自然災害から人々を守る活動について、過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、聞き取りをしたり、地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、表現することを通して、地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な備えをしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、日ごろから必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えようとする態度を養う。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしている。 ②過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などについて、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、災害から人々を守る活動を理解している。	・過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動を捉え、その働きを考え、自分ができることを表現している。	・自然災害から人々を守る活動について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に活かそうとしたりしている。

7 単元の指導計画（全9時間扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
第一次【つかむ】	1	・県内で起きた自然災害の写真から自然災害が自分たちに与える影響や気づいたことについて話し合う。	・県内のどこでどのような災害が起こっているか分かるように、白地図や、映像資料を用意する。	
	2	・浜田市での、豪雨災害について調べ、学習問題をつかむ。 学習問題 「水害からわたしたちのくらしを守るためにだれが、どのような取組をしているのだろうか。」	・実際の被害の様子が分かる資料を提示するようにする。	
第二次【調べる】	3・4・5	・水害が起きたときに、誰がどのような働きをしているのか、関係機関や、協力体制について調べる。 ・今後想定される水害に備えるために浜田市で取り組まれていることを調べる。	・防災教室を開いたり、防災士の方に話を聞いたりすることで、国や地域の実際の取組について理解できるようにする。 ・必要な情報を集めたり、確かめたりできるよ	【知識・技能①】 <u>観察・ワークシート</u> 自分の担当する取組についてワークシートへの書き込み、付箋の内容の確認。

		・家庭では、水害に備えて、どのような取組をしているのか調べる。	うに、ワークシートに付箋を貼るようにする。 ・一つの項目についてより深く理解できるように、公助、共助、自助のグループに分かれ、それぞれの取組を調べられるようにする。	
第三次【まとめる・いかす】	6・7	・公助、共助、自助グループで調べたことを、図式化シートにまとめ、グループで発表練習を行う。	・調べたことを紹介しやすくするために、図式化シートにまとめるようにする。	【知識・技能②】 <u>観察・ワークシート</u> 水害から私たちの暮らしを守るための取組について、思考ツールを活用してまとめているかの確認。
	8（本時）	・思考ツールを活用しながら、水害から私たちの暮らしを守るための取組について考える。	・前時で作成した思考ツールを活用して、話し合ったり、まとめたりできるようにする。	
	9	・自然災害に備えて、私たちにできることを考える。	・前時までに調べたことや、紹介し合ったことを振り返り、具体的な自分にできる取組を考えられるようにする。	【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 <u>発言・ワークシート</u> 自然災害に備えて、自分にできることを具体的に考え、表現しようとしているかの確認。

8 本時の指導（8／9時間目）

（1）本時のねらい

水害から私たちの暮らしを守るための取組について、思考ツールを活用して他者の意見を参考にしながらまとめることができる。

（2）本時の展開

学習活動	・教師の支援	【評 価】
1. 本時の課題をつかむ。	・本時のめあてと学習の進め方を確認する。	
水害に備えてだれが、どのような取組をしているのかまとめよう。		
2. 公助・共助・自助グループに分かれて作成した図式化シートについて発表する。	・発表する際に気を付けることや、発表の仕方を全体で確認するようにする。	
3. 発表するときに大事なことを確認する。	・図式化シートに色を変えて記入したところは、特に相手に伝わるように話し方を工夫するように確認する。	

4. ジグソーチームで集まり、取組を紹介し合い、思考ツールにまとめる。	・聞き取ったことをメモし、思考ツールにまとめていくよう促す。 ・質問タイムを設定し、気になったことや、もっと知りたいことを聞くように指示する。 ・答えられない質問があれば、元のグループに戻り、考えたり、話し合ったりするよう指示する。 ・知りたいことをすぐに調べられるように、集めた情報をファイルにまとめ、資料として残しておく。 ・質問されたことを調べる際に、調べ方を自分で選択できるように資料を用紙しておく。
5. 学習課題について全体で話し合う。	・3つの取組について理解できたことが確認できるように、自分の担当以外の取組も説明する。 ・話し合ったことが視覚的に分かりやすくなるように、黒板に残しておく。 【知識・技能②】観察・ワークシート 水害から私たちの暮らしを守るための取組について、思考ツールを活用して他者の意見を参考にしながらだれが、どのような取り組みをしているかまとめている。
6. 思考ツールから、自分たちにできることを考える。	・図式した板書を基に、3つの役割はそれぞれ大切で、関わり合っていることを確認できるようにする。 ・3つの役割をまとめる活動を通して、今後自分にできる行動を考え、話し合うことができるようにする。

9 研究協議の記録

要約学習について

- ・要約学習の積み重ねにより、上手にペアで図式化を活用しながら発表することができていた。また、調べたことを図式にまとめ、それを見ながら発表する活動を通して、知識が自分のものになっていた。
- ・相手の発表を全てメモしようとしており、大切な事からの聞き落としがあったので、メモをとる基準を明確にする必要があった。
- ・1分で発表するように設定したが、書くことに一生懸命で、理解することに繋がっていなかったのではな

ワークシートについて

- ・自分が書いた図式を指さしながら紹介することができるワークシートになっていた。
- ・3つの項目が一目で見ることができるよう工夫があると良かった。(Yチャート、ICTの活用など)

ジグソー法の活用について

- ・調べる項目を1つに絞ることで、情報を詳しく調べることができたり、内容も充実したりしていた。
- ・自分が調べる項目について具体例まで調べることで、質問されても答えることができていた。
- ・ジグソーチームで発表し合った後、元のチームに帰って、質問されたことや、新たに出た課題について話

し合うことで、知識がより深まった。ジグソーチームでまとめ図式化したものを全体で共有しても良かった。

【指導・講評】

- ・学びの指導体系表を活用し、要約学習をどの教科で、どの単元で活用していくか、検討、実践していくことが大切。
- ・たくさんの情報を集め、思考ツールで整理したうえで図式化したことが良かったが、ときには情報を捨てることも大切。
- ・単元の学習問題を解決するために、資料で調べて図式化したものを使って発表・説明することができていた。この図式化する力は、小学校高学年で得る力だが、基礎が十分できているので、日々の取組が生かされている。
- ・社会科では縦の系統性も大事であり、下学年で学んだことを生かしたり、次学年への繋がりを大切にしたりすることが大事。

10 考察（成果・課題）

本の選定

・本単元では、「水害から、わたしたちのくらしを守るためにだれがどのような取り組みをしているか。」について学習を深めるために必要な本を選んだが、本だけでは浜田市についての情報が足りなかった。そこで、インターネットで浜田市防災課のホームページを調べたり、ハザードマップを活用したりするようにした。その際、必要な情報だけ取り入れられるように、パスファインダーを作成し、その中から資料を選ぶこととした。それにより、児童が疑問に思ったことがあると、パスファインダーを見て調べ先・調べ方を選んでいる様子があった。また、浜田市防災課の方、地域の防災士の方に話を聞いたことも資料とすることで、実際の取組を学習できたり、身近に感じたりすることができるので児童の学習意欲向上に繋がった。

ジグソー法の活用について

・本単元では、公助・共助・自助に分かれてそれぞれの取組を調べるよう役割分担し、単元のまとめの場面で調べたことを紹介するようにした。単元の始めでは、公助・共助・自助の意味をおさえるが、浜田市で行われている具体的な取組はそれぞれのチームで調べるようにしたことで、主体的に学ぶ姿が見られた。1つの事がらに絞ると、自分の受け持った役割を責任をもって調べるので、効率的に知識を習得することができていた。また、より深く理解したことにより、紹介した際に質問されても、説得力のある説明に繋がっていた。

要約学習について

・今回の学習では、集めた情報をまとめ要約する際に図式化を活用した。

本単元では、まず、児童がそれぞれ担当した防災の取組を調べ情報を集めた。そして、集めた情報をグループで観点ごとに整理し、Xチャートにまとめた。思考ツールにまとめることで、分かりやすく共有することができた。その中から、自分が発表したい事らを取捨選択し、図式化する活動を行った。児童は情報を集める活動はとても得意であったが、整理することが難



[illegible]